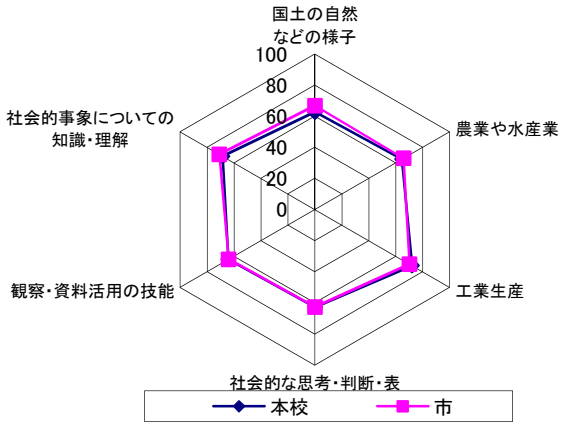
宇都宮市立御幸小学校 第５学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	62.7	66.7
	農業や水産業	64.6	65.8
	工業生産	72.0	70.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	62.8	62.7
	観察・資料活用の技能	64.3	64.1
	社会的事象についての知識・理解	68.6	70.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	・平均正答率は62.7%と市の平均正答率より4%下回った。アメリカの名称や位置，国旗の理解の問題は平均を上回ったが，地図に触れる機会が少なく理解があいまいなため，世界の主な海洋の名称と位置についての正答率が低かった。また，日本の気候や国土の特色についても市の平均を下回った。	・学習に出てくる国や地域を地図帳で確認することを継続して行っていく。また，単に記憶するだけでなく，学習した内容や他の教科と関連させて覚えられるような取り組みを進めていく。
農業や水産業	・平均正答率は64.6%と市の平均正答率より1.2%下回った。特に，地理的に漁業との接点が少ないこともあってか市の平均を大きく下回った。	・地域的に漁業に触れる機会が少ないことも理解が深まりにくい要因と考えられる。指導の際，映像や資料集を多く活用するなどして関心を高め，児童が理解できるように学習を進める。
工業生産	・平均正答率は72.0%と市の平均正答率より1.8%上回った。特に，自動車をつくる工業についての問題や日本の工業生産についての資料からの読み取りの正答率が市の平均を上回った。	・これからも，資料やデータの読み取りをていねいに行い，気が付いたことを発表する機会を増やすなどして関連性や特徴を読み取る力を高めていく。また，見学にい行ったり映像資料を活用したりして，理解の定着を図る。